慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	高齢患者の簡易医療同意能力スクリーニングと意思決定支援ツールの開発
Sub Title	Development of a medical decision-making decision support tool for elderly patients
Author	江口, 洋子(Eguchi, Yoko) 藤澤, 大介(Fujisawa, Daisuke) 小松, 浩子(Komatsu, Hiroko) 河野, 隆志(Kohno, Takashi) 河野, 佐代子(Kawano, Sayoko) 中野, 直美(Nakano, Naomi)
Publisher	
Publication year	2024
Jtitle	科学研究費補助金研究成果報告書 (2023.)
JaLC DOI	
Abstract	適応が高齢者であり今後も手術の増加の見込みが高い、大動脈弁狭窄症の治療場面で取得される実践的データに基づき、医療従事者が利用できる医療同意スクリーニングと意思決定支援に資する資材を開発は、患者の尊厳を守り、本人が望む治療を過不足無く、迅速に提供できる医療現場の創出が可能になることが実践により確認された。大動脈弁狭窄症の患者の意思決定能力を組織的に評価し、意思決定支援を行うプログラムを循環器内科チーム（循環器内科医、循環器内科病棟看護師）、循環器内科外来、認知症サポートチームで実施したところ、 積極的治療を受けている患者の割合が減少した。 また、患者の医療同意能力に関する看護記録が増加した。 The research was conducted with the objective of establishing a medical practice that protects patients' dignity and provides prompt treatment that is neither excessive nor deficient. The cardiology team and the dementia support team implemented a program to systematically assess patients with aortic stenosis and provide decision support. This resulted in a decrease in the percentage of patients receiving active treatment. Furthermore, nursing documentation of patients' capacity to consent to medical care increased.
Notes	研究種目：基盤研究 (C) (一般) 研究期間：2020～2023 課題番号：20K11081 研究分野：老年心理学、神経心理学
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KAKEN_20K11081seika

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９－１、Ｚ－１９　（共通）

科学研究費助成事業　　研究成果報告書

令和　６ 年　 ５ 月 ３０ 日現在

機関番号：３２６１２
研究種目：基盤研究(C)（一般）
研究期間：2020～2023
課題番号：２０Ｋ１１０８１

研究課題名（和文）高齢患者の簡易医療同意能力スクリーニングと意思決定支援ツールの開発

研究課題名（英文）Development of a medical decision-making decision support tool for elderly patients

研究代表者
江口　洋子（Eguchi, Yoko）

慶應義塾大学・医学部（信濃町）・特任助教

研究者番号：７０６４９５２４

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費）　　3,300,000円

研究成果の概要（和文）：適応が高齢者であり今後も手術の増加の見込みが高い、大動脈弁狭窄症の治療場面で取得される実践的データに基づき、医療従事者が利用できる医療同意スクリーニングと意思決定支援に資する資材を開発は、患者の尊厳を守り、本人が望む治療を過不足無く、迅速に提供できる医療現場の創出が可能になることが実践により確認された。大動脈弁狭窄症の患者の意思決定能力を組織的に評価し、意思決定支援を行うプログラムを循環器内科チーム（循環器内科医、循環器内科病棟看護師）、循環器内科外来、認知症サポートチームで実施したところ、 積極的治療を受けている患者の割合が減少した。　また、患者の医療同意能力に関する看護記録が増加した。

研究成果の学術的意義や社会的意義
適応が高齢者であり近年の実績から今後も手術の増加の見込みが高い、大動脈弁狭窄症の治療場面で取得される実践的データに基づき、医療従事者が利用できる医療同意スクリーニングと意思決定支援に資する資材を開発は、患者の尊厳を守り、本人が望む治療を過不足無く、迅速に提供できる医療現場の創出が可能になることが実践により確認されたことは意義深い。

研究成果の概要（英文）：The research was conducted with the objective of establishing a medical practice that protects patients' dignity and provides prompt treatment that is neither excessive nor deficient. The cardiology team and the dementia support team implemented a program to systematically assess patients with aortic stenosis and provide decision support. This resulted in a decrease in the percentage of patients receiving active treatment. Furthermore, nursing documentation of patients' capacity to consent to medical care increased.

研究分野：老年心理学、神経心理学

キーワード：医療同意　意思決定

※科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様　式　Ｃ－１９、Ｆ－１９－１（共通）

１．研究開始当初の背景

治療に対する意思決定は、患者の「生」に対する姿勢が反映されるため、非常に個別的な事案である。そのため生命倫理に基づいて個人の意思や尊厳を尊重したいという臨床現場の思いが強くある。近年に厚生労働省から出された各種ガイドラインや知見から、認知症高齢者の意思を尊重するために、あらゆる場面で、何度でも、誰と決めることなく本人の思いを聞いたり、汲み取ったりすることの大切さが述べられ、我々も病院内の研修会等で同様の提案を続けてきた。この結果、本研究のフィールドとなる診療科においては、単発的にではあるが同病院の精神科の高齢者・認知障害サポートチームへ助言を求めたり、自らの希望で高齢者・認知障害サポートチームの患者の意思決定支援の場面に同席したりしていた。

しかし何度も説明したが本人はどこまで理解できているのかわからない、医療同能力が低下している患者が「話したこと」を本人の意思としてよいのか、物忘れがあっても治療に対する理解を向上させる方法はないのか、などの新たな疑問が診療科の医療従事者の中から生まれてきた。この臨床現場からの疑問に答えることが、このような臨床場面で医療同意能力の評価と患者の意思の尊重（治療をしない選択肢も含め）の実効性が高めることにつながるのではないかと、研究着想に至った。さらに今日の医療の進歩により、侵襲性が従来よりも低く、かつ治療効果が高い経カテーテル大動脈弁留置術（Transcatheter Aortic Valve Implantation：TAVI）のような高齢者に適用できる治療方法が今後新たに開発されれば、さらに高齢者の意思決定評価が求められる場面の増加が見込まれるため、簡易な意思決定能力のスクリーニングは緊喫に作成すべきと考えたことが本研究の動機である。

患者が認知機能低下を伴う場合、自分の治療に対する意思決定能力（医療同意能力）が保たれているかどうかの判断が難しい。現在、医療同意能力は Appelbaum & Grisso（1995）が提唱した理解，認識，論理的思考，選択の表明の 4 つの機能的能力が中核を成す、4 つの能力モデルで説明することが主流である。MacArthur Competence Assessment Tool-Treatment（MacCAT -T）は、4 つの能力モデルに基づき、それぞれを得点化する半構造面接式の評価法であるが、能力の有無のカットオフ得点の設定はない。その理由は、治療の侵襲性、予後や治療後の生活の質の回復の見込みなどの「リスクの大きさ」と、病気に対して治療方法が限定されるか複数あるのかの「確実性」の要因により、意思決定に必要とされる能力の程度が異なるためである（図 1）。

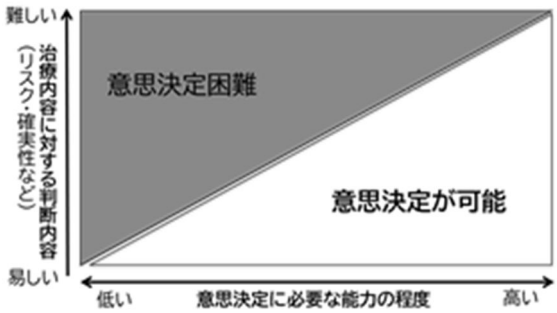


図1 治療内容と医療同意能力との関係

医療同意能力の程度に関する論文は主に国外で報告されている。主な対象者は精神疾患を持つ患者であり、認知機能が低下した高齢者が対象となる報告は少ない。またその報告は、仮の治療場面のシナリオを読ませ、その回答から評価することが多く、実際の臨床場面における治療についての能力評価は僅かであり、主に認知症治療に対する評価となっている。一例として、認知機能低下を評価する Mini-Mental State Examination（MMSE）の得点が軽度認知障害から認知症を示唆する範囲であっても抗認知症薬の服薬開始に対する医療同意能力の判定に「ある・なし」が混在する報告（加藤ら，2015）や、架空の治療を設定したシナリオを読ませた実験場面で、認知症高齢者は健常高齢者よりも医療同意能力の低下を認めやすいが，その低下にはかなりの不均一性があり，認知症の重症度と医療同意能力障害の低下の程度が必ずしも正相関しているとはいえないという報告（Sessums LL，et al．2011）がある。

しかし、身体疾患に関する治療に対する高齢者を対象とした能力評価の報告は国内外で見当たらない。また本研究のフィールで得られるような、患者群が均質で相当数のデータを得た研究は行われていない。また、国内では、特に看護領域においては患者の意思決定支援の重要性について、これまでも論議されてきた。しかし医療従事者が臨床場面で、簡易かつ客観的で実行性の高い意思決定能力を評価するためのツールは存在しない。

このような経緯から、医療においても意思決定能力の評価、意思決定の支援などの本人の意思の尊重のための取り組みが求められている。しかし実際の臨床では膨大な数の治療があり、それぞれの治療に対して必要な医療同意能力の程度を設定するのは不可能である。また、意思決定は自分の受ける治療を理解することが大前提で、それに加え個人の価値観、生活環境、これまでの経験などが影響を及ぼすため、患者の意思決定を支援するには、医療従事者が治療に対する理解

を促すための取り組みや、患者の個性を知り上手に意思決定までの道案内をすることも求められる。それには人的、時間的なコストがかかるが、医療現場にはその資源が現状では不足していることが現状である。

本研究では大動脈弁狭窄症の治療目的で受診した患者が対象となる。大動脈弁狭窄症は、症状が徐々に進行するために気づきにくい。重症となり症状が顕在化した後の予後が悪く、無治療の場合には 2 年以内の生存率は 50%である。75 歳以上の高齢者の罹患率は 13.1%であり、重症化した高齢患者の数が今後急増することが想定される。TAVI は、外科的手術不適用であった高齢者にも適用可能な新たな治療であり、2014 年 135 件から 2018 年 5278 件と急増している（日本循環器学会 循環器疾患診療実態調査 2014 年/2018 年報告書）。高齢者では、身体の負担や予後の観点から、TAVI が第 1 選択治療とされている。また本研究のフィールドとなる大学病院では、国内でも高い頻度で TAVI を実施している状況であり、多くの患者に研究に参加いただくことが可能であった。

２．研究の目的

本研究の目的は、(1)大動脈弁狭窄症の高齢患者の医療同意能力障害の有症率の測定と影響を及ぼす認知機能の同定、(2)大動脈弁狭窄症の治療に対する医療同意能力の簡易スクリーニングの開発、(3)患者・家族自身のニーズに基づいた意思決定支援に資する資材の作成と効果検証である。

３．研究の方法

フィールドは大学病院であり、そこでの意思決定支援の経過を図２に示す。精神科の高齢者・認知障害サポートチーム(Dementia Support Team: DST)が主体となり、①から④を実施した。特に②の主診療科チームへの支援期においては、以下、(1)～(3)を繰り返して実施した。

(1)スクリーニング：
外来受診した患者に対し、認知機能障害のスクリーニングとして、Observation List for early signs of Dementia(OLD）を実施。

(2)同意能力評価および意思決定支援の実践：
OLD が 4 点以上の患者に対し、TAVI 適応かを判断するための検査入院中に MacArthur Competence Assessment Tool for Treatment（MacCAT-T）に基づく約 30 分～40 分程度の半構造化面接を DST メンバー（精神科医師、公認心理師、精神看護専門看護師）で実施。面接では、３つのことを実施した。①患者本人の同意能力の程度のアセスメント、②同意能力が低下している場合には、代理意思決定者として患者が誰を希望しているかを確認、③本人の治療への意思が明確な場合、その理由もあわせて聴取。

(3)プライマリーチームへのフィードバック：
DST による半構造化面接を行った後、プライマリーチームに対し、口頭とカルテ記載にて詳細にフィードバックを行った。フィードバック内容は、以下４点である。①同意能力評価の結果、②患者の治療に対する思いや意思、③同意能力が低下していると考えられる場合には患者が指名する代理意思決定者は誰か、④代理意思決定者への説明方法や今後の対応方法

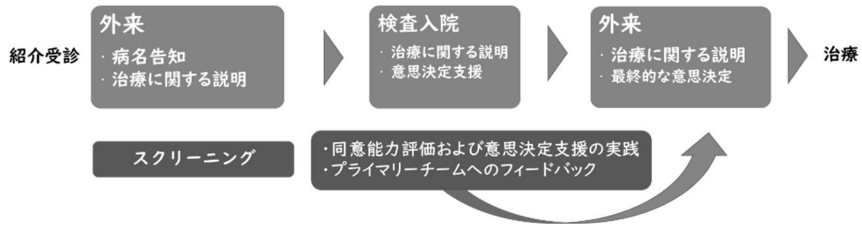
図２　意思決定支援の経過
（高齢者・認知障害サポートチーム(Dementia Support Team: DST)の支援）

①　課題の気づき期	院内講習 困難事例のカンファレンス どんなとき困るか 何が困るか 助けてほしいことは何か
②　主診療科チームへの支援期	DSTによる評価と支援 （意思決定支援体制の構築）
③　相互補完期	主診療科とDSTでツール作成 情報収集シート作成（カルテ記入ひな形）など
④　拡大期	主診療科による、本人評価と本人・家族支援の拡大 他の診療科と取り組みの共有

図３は②の主診療科チームへの意思決定支援のタイミングを示している。

」

図３　主診療科チームへの意思決定支援のタイミング



（図の濃い四角部分が DST の具体的支援）

以上の取り組みの前後における診療録の後方視的調査を行った。

４．研究成果

上記のような、大動脈弁狭窄症患者を対象として、患者の意思決定能力を評価し、意思決定を支援し、専門家（認知症サポートチーム：DST）に紹介する支援体制システムを確立し、同時に、医療従事者に対しても関連教育が行われた。システム構築後、DST に対する意思決定支援要請数は有意に増加し、患者の一定割合に意思決定能力が低下していることが確認された。積極的治療（侵襲性のある内科的、あるいは外科的治療）を受けた患者の割合は有意に減少したことが明らになった。積極的治療を受けた患者の減少が、このシステムの導入によってもたらされたとすれば、患者に治療法を押し付けないこと、患者の意思決定プロセスを重視することの重要性を強調する医療従事者の意識の変化を反映している可能性がある。

さらに、患者の能力「理解，認識，論理的思考」に関する看護記録の記載が大幅に増加し、入院時に医療従事者の意思の汲み取りの態度に変化が生じていることが明らかになった。実際に、患者への質問の方法や確認すべき内容などについて、自信がもてるようになったとの発言も聞かれ、比較的重度の認知機能障害を持つ患者に対しても意思を確認することの重要性が浸透してきている。

本研究の総括として、認知機能が低下した患者の医療同意に関しては、本人と家族のどちらの支援も重要であること、得た情報を共有できる場やツールを持つとスムーズな支援が可能になること、患者の意思を推定するには、医療者や家族が「意思決定支援について理解すること」が重要であることが本研究において明確になった。しかし意思決定支援の理解が、患者の意思推定の正確性にどのような影響を及ぼすかは今後の調査が必要であると考えられる。

今後の展望として、このような取り組みは、関与者を巻き込んでいくイメージで進めることが効果的であることを実感したため、連携のよりよい循環が生まれるように工夫した体制構築のノウハウを発信することで、患者のよりよい意思決定を支援できるよう進めたい。

５．主な発表論文等

〔雑誌論文〕　計36件（うち査読付論文　24件／うち国際共著　1件／うちオープンアクセス　11件）

１．著者名 Tobita Kazuki、Sakamoto Hayato、Inami Takumi、Fujisawa Daisuke、Takeuchi Kaori、Kikuchi Hanako、Ito Junnosuke、Goda Ayumi、Soejima Kyoko、Kohno Takashi	４．巻 212
２．論文標題 Understanding Patient Perspectives Toward Shared Decision-Making in Patients With Pulmonary Hypertension	５．発行年 2024年
３．雑誌名 The American Journal of Cardiology	６．最初と最後の頁 23～29
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.amjcard.2023.11.041	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 Abe Akiko、Takeuchi Mari、Kobayashi Masato、Kohno Takashi、Mimura Masaru、Fujisawa Daisuke	４．巻 22
２．論文標題 Qualitative analysis of expressions used in the end-of-life discussions and their associated factors	５．発行年 2023年
３．雑誌名 Palliative and Supportive Care	６．最初と最後の頁 374～380
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1017/S1478951523001396	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 Kimura Hiroyuki、Kishi Shinichi、Narita Hisashi、Tanaka Teruaki、Okada Tsuyoshi、Fujisawa Daisuke、Sugita Naoko、Noma Shun’ichi、Matsumoto Yosuke、Ohashi Ayako、Mitsuyasu Hiroshi、Yoshida Keizo、Kawasaki Hiroaki、Nishimura Katsuji、Ogura Yasuhiro、Ozaki Norio	４．巻 23
２．論文標題 Comorbid psychiatric disorders and long-term survival after liver transplantation in transplant facilities with a psychiatric consultation-liaison team: a multicenter retrospective study	５．発行年 2023年
３．雑誌名 BMC Gastroenterology	６．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1186/s12876-023-02735-1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

１．著者名 Sekine Otoya、Kitakata Hiroki、Kohsaka Shun、Fujisawa Daisuke、Nakano Naomi、Shiraishi Yasuyuki、Kishino Yoshikazu、Katsumata Yoshinori、Yuasa Shinsuke、Fukuda Keiichi、Kohno Takashi	４．巻 38
２．論文標題 Perspectives of hospitalized heart failure patients: preferred and perceived participation roles in treatment decisions	５．発行年 2023年
３．雑誌名 Heart and Vessels	６．最初と最後の頁 1244～1255
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1007/s00380-023-02275-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 藤澤大介	4．巻 17
2．論文標題 がん化学療法における高齢者総合的機能評価の重要性	5．発行年 2023年
3．雑誌名 医療と安全	6．最初と最後の頁 20-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Afiyanti Yati、Komatsu Hiroko、Jagdish Prathepa、Milanti Ariesta、Nilmanat Kittikorn、Lai Yeur-Hur、Liao Mei-Nan、D'Souza Anita、Fitch Margaret I.	4．巻 12
2．論文標題 Growth and development of oncology nursing in Asia	5．発行年 2023年
3．雑誌名 Annals of Palliative Medicine	6．最初と最後の頁 1004～1015
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.21037/apm-22-1399	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1．著者名 小松 浩子	4．巻 36
2．論文標題 超高齢者の「生きる」姿からみる健康寿命	5．発行年 2023年
3．雑誌名 日本老年泌尿器科学会誌	6．最初と最後の頁 2-7
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 田邉 沙央里、小松 浩子、矢ヶ崎 香	4．巻 37
2．論文標題 化学療法による認知機能障害の有病率とQOLへの影響に関するシステマティックレビュー	5．発行年 2023年
3．雑誌名 日本がん看護学会誌	6．最初と最後の頁 121-131
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Eguchi Y, Matsumoto S, Niimura H	4．巻 -
2．論文標題 Cognitive function and independence in the oldest-old: Review study based on aging in place	5．発行年 2023年
3．雑誌名 Psychologia	6．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Komatsu H, Komatsu Y	4．巻 11
2．論文標題 The Role of Nurse on the Treatment Decision Support for Older People with Cancer: A Systematic Review	5．発行年 2023年
3．雑誌名 Healthcare	6．最初と最後の頁 546-546
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3390/healthcare11040546	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Komatsu H, Niimura H, Yagasaki K	4．巻 22
2．論文標題 Process of inner change in advanced age: a qualitative study of older adults in their early 90 s	5．発行年 2022年
3．雑誌名 BMC Geriatr.	6．最初と最後の頁 945-945
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1186/s12877-022-03665-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Kameyama N, Sato T, Arai D, Fujisawa D, Takeuchi M, Nakachi I, Kawada I, Yasuda H, Ikemura S, Terai H, Nukaga S, Nakano Y, Hirano T, Minematsu N, Asakura T, Kamatani T, Tanaka K, Suzuki S, Miyawaki M, Naoki K, Fukunaga K, Soejima K	4．巻 18(12)
2．論文標題 Most Important Things and Associated Factors With Prioritizing Daily Life in Patients With Advanced Lung Cancer	5．発行年 2022年
3．雑誌名 JCO Oncol Pract.	6．最初と最後の頁 e1977-e1986
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1200/OP.22.00124	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Kitakata H, Kohno T, Kohsaka S, Fujisawa D, Nakano N, Sekine O, Shiraishi Y, Kishino Y, Katsumata Y, Yuasa S, Fukuda K	4．巻 21
2．論文標題 Social Isolation and Implementation of Advanced Care Planning among Hospitalized Heart Failure Patients	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Journal of the American Heart Association	6．最初と最後の頁 e026645-e026645
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1161/JAHA.122.026645	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Hashimoto S, Kitakata H, Kohsaka S, Fujisawa D, Shiraishi Y, Nakano N, Sekine O, Kishino Y, Katsumata Y, Yuasa S, Fukuda K, Kohno T	4．巻 -
2．論文標題 Confidence in self-care after heart failure hospitalization	5．発行年 2022年
3．雑誌名 J Cardiol.	6．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.jjcc.2022.10.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Sugiura K, Kohno T, Hayashida K, Fujisawa D, Nakano N, Saito T, Hase H, Yoshijima N, Tsuruta H, Itabashi Y, Kohsaka S, Fukuda K	4．巻 4
2．論文標題 Elderly Aortic Stenosis Patients' Perspectives on Treatment Goals in Transcatheter Aortic Valvular Replacement	5．発行年 2022年
3．雑誌名 ESC Heart Fail.	6．最初と最後の頁 2695-2702
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1002/ehf2.14008	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 江口洋子	4．巻 34
2．論文標題 認知症診療における遠隔神経心理検査の現状と今後	5．発行年 2022年
3．雑誌名 精神医学	6．最初と最後の頁 35-39
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 江口洋子	4．巻 51
2．論文標題 認知症高齢者の医療同意における能力評価と支援の試み	5．発行年 2022年
3．雑誌名 臨床精神医学	6．最初と最後の頁 49-56
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 祝広香、浅岡雅人、馬場香織、藤澤大介	4．巻 31
2．論文標題 リハビリテーション医療におけるACP：治らないかもしれない障害をもつ患者に対応する：進行がん患者―病勢が進行する中、本人の希望にどう寄り添うか	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Journal of Clinical Rehabilitation	6．最初と最後の頁 1193-1197
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 藤澤大介	4．巻 41
2．論文標題 老年期のメンタルヘルス―人生100年時代のこころの健康を守る：認知行動療法	5．発行年 2023年
3．雑誌名 カレントセラピー	6．最初と最後の頁 41-45
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Kato Yuka、Matsuoka Teruyuki、Eguchi Yoko、Iiboshi Kiyoko、Koumi Hiroyuki、Nakamura Kaeko、Okabe Kayoko、Nakaaki Shutaro、Furukawa Toshiaki A.、Mimura Masaru、Narumoto Jin	4．巻 12
2．論文標題 Anxiety Impacts Consent Capacity to Treatment in Alzheimer's Disease	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Frontiers in Psychology	6．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.3389/fpsyg.2021.685430	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Kitakata Hiroki、Kohno Takashi、Kohsaka Shun、Fujisawa Daisuke、Nakano Naomi、Shiraishi Yasuyuki、Katsumata Yoshinori、Yuasa Shinsuke、Fukuda Keiichi	4．巻 27
2．論文標題 Prognostic Understanding and Preference for the Communication Process with Physicians in Hospitalized Heart Failure Patients	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Journal of Cardiac Failure	6．最初と最後の頁 318～326
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.cardfail.2020.10.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Abe Akiko、Kobayashi Masato、Kohno Takashi、Takeuchi Mari、Hashiguchi Saori、Mimura Masaru、Fujisawa Daisuke	4．巻 20
2．論文標題 Patient participation and associated factors in the discussions on do-not-attempt-resuscitation and end-of-life disclosure: a retrospective chart review study	5．発行年 2021年
3．雑誌名 BMC Palliative Care	6．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1186/s12904-020-00698-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Kitakata Hiroki、Kohno Takashi、Kohsaka Shun、Fujisawa Daisuke、Nakano Naomi、Shiraishi Yasuyuki、Katsumata Yoshinori、Nagatomo Yuji、Yuasa Shinsuke、Fukuda Keiichi	4．巻 8
2．論文標題 Preferences on advance care planning and end‐of‐life care in patients hospitalized for heart failure	5．発行年 2021年
3．雑誌名 ESC Heart Failure	6．最初と最後の頁 5102～5111
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1002/ehf2.13578	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 藤澤大介	4．巻 36
2．論文標題 死別悲嘆と遷延性悲嘆症	5．発行年 2021年
3．雑誌名 精神科治療学増刊号	6．最初と最後の頁 109-111
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 藤澤 大介、田島 美幸、田村 法子、色本 涼	4．巻 63
2．論文標題 特集 認知症診療における精神科医の役割を再考する　認知症家族介護者に対する認知行動療法	5．発行年 2021年
3．雑誌名 精神医学	6．最初と最後の頁 1223～1230
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.11477/mf.1405206427	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 朴順禮、藤澤大介	4．巻 63(3)
2．論文標題 患者の死と向き合う医療者への心のケア	5．発行年 2021年
3．雑誌名 保健の科学	6．最初と最後の頁 179-183
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Shinada Keitaro、Kohno Takashi、Fukuda Keiichi、Higashitani Michiaki、Kawamatsu Naoto、Kitai Takeshi、Shibata Tatsuhiro、Takei Makoto、Nochioka Kotaro、Nakazawa Gaku、Shiomi Hiroki、Miyashita Mitsunori、Mizuno Atsushi	4．巻 79
2．論文標題 Caregiver experience with decision-making difficulties in end-of-life care for patients with cardiovascular diseases	5．発行年 2022年
3．雑誌名 Journal of Cardiology	6．最初と最後の頁 537～544
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.jjcc.2021.11.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Yokoi Ryosuke、Eguchi Yoko、Fujita Takanori、Nakayachi Kazuya	4．巻
2．論文標題 Artificial Intelligence Is Trusted Less than a Doctor in Medical Treatment Decisions: Influence of Perceived Care and Value Similarity	5．発行年 2020年
3．雑誌名 International Journal of Human?Computer Interaction	6．最初と最後の頁 1～10
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1080/10447318.2020.1861763	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Abe Akiko、Kobayashi Masato、Kohno Takashi、Takeuchi Mari、Hashiguchi Saori、Mimura Masaru、Fujisawa Daisuke	4．巻 20
2．論文標題 Patient participation and associated factors in the discussions on do-not-attempt-resuscitation and end-of-life disclosure: a retrospective chart review study	5．発行年 2021年
3．雑誌名 BMC Palliative Care	6．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1186/s12904-020-00698-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1．著者名 Kitakata Hiroki、Kohno Takashi、Kohsaka Shun、Fujisawa Daisuke、Nakano Naomi、Shiraishi Yasuyuki、Katsumata Yoshinori、Yuasa Shinsuke、Fukuda Keiichi	4．巻 27
2．論文標題 Prognostic Understanding and Preference for the Communication Process with Physicians in Hospitalized Heart Failure Patients	5．発行年 2021年
3．雑誌名 Journal of Cardiac Failure	6．最初と最後の頁 318～326
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.cardfail.2020.10.009	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1．著者名 藤澤大介	4．巻 20
2．論文標題 身体疾患の患者さんとどう語るか？　がん患者さんを例に	5．発行年 2020年
3．雑誌名 臨床心理学	6．最初と最後の頁 439～444
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1．著者名 藤澤大介	4．巻 35
2．論文標題 医療倫理と医療安全	5．発行年 2020年
3．雑誌名 精神科治療学	6．最初と最後の頁 243～245
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1．著者名 竜﨑俊亘、河野佐代子、江口洋子、林田健太郎	4．巻 102
2．論文標題 高齢者のSHDカテーテル治療の適応	5．発行年 2020年
3．雑誌名 治療	6．最初と最後の頁 728～732
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Matsuda Risa、Kohno Takashi、Kohsaka Shun、Shiraishi Yasuyuki、Katsumata Yoshinori、Hayashida Kentaro、Yuasa Shinsuke、Takatsuki Seiji、Fukuda Keiichi	4．巻 16
2．論文標題 Psychological disturbances and their association with sleep disturbances in patients admitted for cardiovascular diseases	5．発行年 2021年
3．雑誌名 PLOS ONE	6．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1371/journal.pone.0244484	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

1．著者名 Horie Haruaki、Kohno Takashi、Kohsaka Shun、Kitakata Hiroki、Shiraishi Yasuyuki、Katsumata Yoshinori、Hayashida Kentaro、Yuasa Shinsuke、Takatsuki Seiji、Fukuda Keiichi	4．巻
2．論文標題 Frequent nightmares and its associations with psychological and sleep disturbances in hospitalized patients with cardiovascular diseases	5．発行年 2020年
3．雑誌名 European Journal of Cardiovascular Nursing	6．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1093/eurjcn/zvaa016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 －

1．著者名 Komatsu Hiroko、Yagasaki Kaori、Oguma Yuko、Saito Yoshinobu、Komatsu Yasuhiro	4．巻 20
2．論文標題 The role and attitude of senior leaders in promoting group-based community physical activity: a qualitative study	5．発行年 2020年
3．雑誌名 BMC Geriatrics	6．最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1186/s12877-020-01795-2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 －

〔学会発表〕　計14件（うち招待講演　9件／うち国際学会　0件）

１．発表者名
江口洋子

２．発表標題
大動脈弁狭窄症の治療にかかる医療同意に関する本人ならびに家族に対する支援

３．学会等名
第41回日本認知症学会学術集会/第37回日本老年精神医学会[合同開催]（招待講演）

４．発表年
2022年

１．発表者名
河野佐代子，江口洋子，大角梓，中野直美，田久保美千代，木村範子，田中謙二，藤澤大介，内田裕之，竹内啓善，林田健太郎，竜崎俊亘，坂田新悟，三村將

２．発表標題
多職種チームによる高齢者意思決定支援の定着に向けた実践プロセス

３．学会等名
第41回日本認知症学会学術集会/第37回日本老年精神医学会[合同開催]

４．発表年
2022年

１．発表者名
江口洋子

２．発表標題
認知症高齢者における医療同意能力の評価と支援

３．学会等名
第8回浅香山精神科研究会（招待講演）

４．発表年
2022年

１．発表者名
江口洋子

２．発表標題
認知機能低下患者に対する、多職種による意思決定支援について

３．学会等名
第18回JKTがんリハビリテーションフォーラム（招待講演）

４．発表年
2021年

１．発表者名
江口洋子

２．発表標題
認知症高齢者の入院時における医療同意能力の評価と支援（シンポジウム 精神科だからこそできる多職種協働による包括的支援 ～認知症診療における多職種の役割～）

３．学会等名
第117回日本精神神経学会学術総会（招待講演）

４．発表年
2021年

１．発表者名
河野佐代子、江口洋子

２．発表標題
多職種チームによる高齢者意思決定支援の実装と定着に向けた実践プロセス

３．学会等名
第26回聖路加看護学会学術大会（招待講演）

４．発表年
2021年

１．発表者名
河野佐代子、江口洋子、田中謙二、中野直美、藤澤大介、竜崎俊亘、林田健太郎、三村將

２．発表標題
認知機能低下患者の意思決定支援における循環器内科との取り組み（実践報告）

３．学会等名
第34回日本総合病院精神医学会総会

４．発表年
2021年

１．発表者名
藤澤大介、田島美幸、石川博康、原祐子、色本凉、重枝裕子、田村法子

２．発表標題
認知症介護における認知行動療法

３．学会等名
第21回日本認知療法・認知行動療法学会ワークショップ（招待講演）

４．発表年
2021年

１．発表者名
藤澤大介

２．発表標題
院内教育の進め方

３．学会等名
日本医療安全学会 基礎講座（招待講演）

４．発表年
2021年

１．発表者名
Mitsuyama Y, Goda A, Naka Y, Takeuchi K, Kikuchi H, Inami T, Kohno T, Soejima K.

２．発表標題
Prevalence and Clinical Characteristics of Depression and Anxiety in Patients with Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension and Pulmonary Arterial Hypertension

３．学会等名
第86回日本循環器学会総会

４．発表年
2022年

１．発表者名
江口洋子、河野佐代子、中野直美、竜崎俊宣、林田健太郎、藤澤大介、田中謙二、三村將

２．発表標題
経カテーテル的大動脈弁植込み術適応の高齢患者における医療同意能力の評価と支援

３．学会等名
第24回日本心不全学会学術集会（招待講演）

４．発表年
2020年

１．発表者名
阿部晃子、小林雅斗、河野隆志、竹内麻理、江口洋子、河野佐代子、長谷川奉延、橋口さおり、三村將、藤澤大介

２．発表標題
終末期と心肺蘇生(CPR)に関する話し合いへの患者本人の参加率と関連要因

３．学会等名
緩和・支持・心のケア合同学術大会

４．発表年
2020年

１．発表者名 Kohno T, Hayashida K, Saito T, Hase H, Yoshijima N, Tsuruta H, Itabashi Y, Kohsaka S, Fukuda K.
２．発表標題 Patients Perspective on Treatment Goals in Transcatheter Aortic Valvular Implantation
３．学会等名 第84回日本循環器学会総会
４．発表年 2020年

１．発表者名 北方博規、河野隆志、香坂俊、白石泰之、勝俣良紀、湯浅慎介、福田恵一
２．発表標題 心不全入院患者の予後理解と予後についての医師との対話に関する希望（シンポジウム「心不全緩和ケア　新たなアプローチを考える」）
３．学会等名 第24回日本心不全学会学術集会（招待講演）
４．発表年 2020年

〔図書〕　計1件

１．著者名 藤澤大介、山本玲美子、田村法子	４．発行年 2020年
２．出版社 青海社	５．総ページ数 395
３．書名 気持ちのつらさの評価. 「緩和ケア・がん看護臨床評価ツール大全」	

〔産業財産権〕

〔その他〕

―

６．研究組織

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
研究分担者	藤澤　大介 (Fujisawa Daisuke) (30327639)	慶應義塾大学・医学部（信濃町）・准教授 (32612)	

6．研究組織（つづき）

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
研究分担者	小松　浩子 (Komatsu Hiroko) (60158300)	日本赤十字九州国際看護大学・看護学部・教授 (37123)	
研究分担者	河野　隆志 (Kohno Takashi) (60327509)	杏林大学・医学部・教授 (32610)	

	氏名 （ローマ字氏名） （研究者番号）	所属研究機関・部局・職 （機関番号）	備考
研究協力者	河野　佐代子 (Kawano Sayoko)	慶應義塾大学・大学病院・精神看護専門看護師 (32612)	
研究協力者	中野　直美 (Nakano Naomi)	慶應義塾大学・大学病院・心不全認知看護師 (32612)	

7．科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕　計0件

8．本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関